

# えんだより



可愛保育園

令和5年 10月号



- 10日(火) 就学時健診(さくら組)
- 11日(水) 秋の遠足
- 13日(金) たいそう教室(さくら組)
- 14日(土) えのほいくえんバザー
- 19日(木) クッキング(さくら組)
- 24日(火) 歯科検診、フッ素
- 25日(水) 避難訓練
- 26日(木) 内科健診
- 27日(金) 誕生日会

※10月20日頃に、天候をみて「おいもほり」をします。  
詳しいことが決まりましたら、お知らせします。



 11日(水)に **秋の遠足**へ行きます   
【さくら・きく・ばら組】

安佐動物公園(広島市安佐北区安佐町大字動物園)

【たんぽぽ・もも・すみれ組】

園周辺、園庭などをお散歩♪

\*詳しい内容は、またお知らせします

空高くたなびく雲に秋の深まりを感じます。

遠足やバザー、お芋ほりなど様々な行事が続く10月。  
そのひとつひとつが大きな経験になります。積み重ねを大切にしながら、子どもたちの自信へとつなげていきたいと思ひます。



## えのほバザー



14日(土)は、保護者会主催のバザーです。保護者会の  
役員の皆さんが、美味しい軽食や楽しい工作、ゲームなどを  
用意して下さいます。リサイクルバザーには、あんなもの  
やこんなもの!!掘り出し物があるかもしれませんよ~◎

ご家族ご近所お誘いあわせて、ぜひ遊びに来て下さいね。

**!! 当日券あります !!**



# 『今、うちのクラスは。。。』



各クラスの担任へインタビュー！！

今月は《好きな給食 BEST 3》です。



## ★さくら組★

- 1位 カレー
- 2位 麻婆豆腐
- 3位 春雨スープ



## ★きく組★

- 1位 カレー
- 2位 春雨のサラダ
- 3位 からあげ



## ★ばら組★

- 1位 カレー
- 2位 中華そば
- 3位 バンサンスー



## ★たんぼぼ組★

- 1位 汁物
- 2位 お魚料理全般
- 3位 カレー



## ★もも組★

- 1位 豆腐の落とし揚げ
- 2位 中華そば
- 3位 唐揚げ



## ★すみれ組★

- 1位 うどん汁
- 2位 豆腐のみそ汁
- 3位 五目卵焼き



## 人気メニューを cooking!! 「豆腐の落とし揚げ」

【材料】3～4人分

木綿豆腐 1丁 (水切りしておきます) ツナ缶、サケフレークなど 40g  
 しいたけ、ネギなどお好きな野菜 適量 卵 1個 小麦粉 30g

【作り方】

材料をボウルに全部入れて混ぜます。

170℃に熱した油にスプーンで丸めたたねを落とししていきます。

きつね色になれば完成です😊

\*中に入れる材料は、何でもOKです！アレンジは無限大∞

\*ボウルの中に入れて混ぜるところをお子様と一緒にやってみてください



現在を最もよく生き、  
生涯にわたる生きる力の基礎を育む

今年の運動会は「**できる！できる！できる！**」を合言葉に運動会に向けて取り組んできました。鼓隊やバルーンなどクラスのみみんなで力を合わせてすることや、各クラスの競技では、初めて挑戦することがたくさんあります。

「やってみたい」「できるようになりたい」気持ちから挑戦することは、できなくても、「もう一回やってみる」「違う方法でやってみる」「友だちを見てやってみる」といった、何度も繰り返し挑戦することにつながります。そして、その気持ちを「できる！」という思いが後押しをしてくれます。

子どもたちが自分自身の思いや気持ちの中から、努力を重ね、試行錯誤し、一生懸命に挑戦することは、子どもの本当の育ちであります。それは今を充実して過ごすことであり、将来を生きるための確かな土台となっていくものだと思います。



今のさくら組さんが去年きく組だったとき、「鼓隊かっこいいなあ！」と憧れのまなざしで、さくら組の練習を見ながら、リズムをとっていました



## 研修報告

親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要記念行事「青少年教化推進者のつどい」の記念講演で、ラジオ DJ で NHK E テレ『バリバラ』の司会をされているレモンさん（山本シュウさん）は、人との向き合い方について次のようなお話をされました。

「なんで（Why）っていう言葉、ゴミ箱に捨ててください。『なんで起きれないの』『なんで言うとおりにできない』。これらは昭和の洗脳です。『なんで』っていうのは人を責めています。『**なんで（Why）**』の代わりに『**どうしたら（How）**』です。『どうしたら起きられるかな』『どうしたら分かるようになるかな』。責める言葉を受けても子どもの心には何も届かない。子どもを子ども扱いするのではなく、小さな大人として尊重して接することが大切である。」

子どもたちの思い・気持ちに寄り添いながら『どうしたら（How）』を一緒に考えていきたいと思います。